

『市民の台所』の 過去、現在と未来

—— 福山地方卸売市場の機能と役割をめぐって ——

福山市また備後圏域の「市民の台所」としても親しまれる株式会社福山地方卸売市場は、2021年6月に開設50周年を迎えた。本シンポジウムでは、戦後の消費者ニーズや流通構造の劇的変化に向き合い続けてきた福山地方卸売市場の歴史的歩み及び、近年の改正卸売市場法成立にともなう「中央」から「地方」への全国卸売市場の「地殻変動」が本格化する現状と今後のあり方、方向性について、福山地方卸売市場がもつ重要な機能と役割に注目しながら、卸売市場・行政・小売の諸関係者とともに多角的な視点から具体的に討論していく。

2022
12/17 土

13:00 ▶ 17:00

場所 福山大学社会連携推進センター 9階
広島県福山市丸之内1丁目2番40号（福山駅前）



プログラム

開会挨拶 13:00～13:10

記念講演 13:15～14:00

改正卸売市場法下の新制度における卸売市場の
機能と役割をめぐる考察

細川允史氏（卸売市場政策研究所代表）

パネル報告 14:05～15:25

▶ 福山生鮮食料品市場の「百年」と福山地方卸売市場の水産部門
張 楓氏（福山大学経済学部教授）

▶ 福山地方卸売市場の青果部門の歴史的展開
植田展大氏（立命館大学経営学部准教授）

▶ 福山地方卸売市場の再整備過程 ～新たな「市民の台所」をめざして～
池田幸博氏（株式会社福山地方卸売市場・市場長）

ディスカッション 15:30～16:50

「市民の台所」の過去、現在と未来

—— 福山地方卸売市場の機能と役割をめぐって ——

- 細川允史氏（卸売市場政策研究所代表）
- 池田幸博氏（福山地方卸売市場・市場長）
- 池田圭次氏（福山市経済環境局長）
- 丸竹義則氏（株式会社エプリーホーミイホールディングス社長室長）
- 張 楓氏（福山大学経済学部教授）
- 植田展大氏（立命館大学経営学部准教授）

『市民の台所』の過去、現在と未来

— 福山地方卸売市場の機能と役割をめぐって —

登壇者紹介



細川允史氏（卸売市場政策研究所代表）

記テ

1968年東京大学農学部卒業。1970年東京都庁に入庁。以来、東京都中央卸売市場食肉市場業務課長、同大田市場業務課長、労働経済局農林水産部農芸緑生課長、中央卸売市場監理課長、東京都農業試験場長などを歴任。1997年酪農学園大学食品流通学科教授に就任。2011年卸売市場政策研究所を設立。現在、総務省地方公営企業等経営アドバイザー、食品流通構造改善促進機構・評議員、東京都中央卸売市場業務運営協議会委員など。



張 楓氏（福山大学経済学部教授）

パテ

経済学博士。専門は日本経済史・経営史、地域産業史。2005年広島大学社会科学研究科博士課程修了。広島大学社会科学研究科特任講師（常勤）を経て、2014年福山大学経済学部准教授。2018年福山大学経済学部教授。『備後福山の社会経済史』（編著、日本経済評論社、2020年。中小企業研究奨励賞）。『近現代日本の地方産業集積：木工から機械へ』（日本経済評論社、2021年。企業家研究フォーラム図書賞、政治経済学・経済史学会賞）など。



植田展大氏（立命館大学経営学部准教授）

パテ

経済学博士。専門は日本経済史・経営史、漁業史。2017年東京大学経済学研究科博士課程単位取得満期退学。農林中金総合研究所基礎研究部研究員を経て、2021年立命館大学経営学部准教授。「地域企業としての日東製網」張楓編『備後福山の社会経済史』（日本経済評論社、2020年）。『帝国日本の漁業と漁業政策』（共著、北斗書房、2016年）など。



池田幸博氏（福山地方卸売市場・市場長）

パテ

元福山市職員。神辺町役場から合併により福山市へ。東京事務所長、議会事務局長を経て、2017年（平成29年）3月に経済環境局長で定年退職。同年4月から㈱福山地方卸売市場代表取締役兼市場長に就任。現在に至る。



池田圭次氏（福山市経済環境局長）

テ

元神辺町役場職員。神辺町役場から合併により福山市へ。給与課長、東京事務所長、福山駅前再生推進部長を経て、2022年（令和4年）4月に経済環境局長に就任。現在、経済環境局長兼建設局参事兼建設局福山駅周辺再生推進部長事務取扱。



丸竹義則氏（株式会社エブリイホームイホールディングス社長室長）

テ

元㈱広島銀行職員。東部統括本部推進室長、安支店長を最後に退職。その後㈱エブリイに入社。取締役人事部長を経て、2016年（平成28年）11月に取締役社長室長兼㈱エブリイホームイホールディングス社長室長に就任。現在に至る。